

# 呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2022年9月1日～ 2023年3月31日の期間に当院にてRRSチームによる対応が必要である診断され、治療を受けた患者さん			
② 研究課題名	呉医療センターにおけるRapid Response System (RRS) の活動と課題			
③ 実施予定期間	2023年6月～ 2024年3月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	岩崎泰昌	所属	呉医療センター 救急科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	岩崎泰昌	所属	呉医療センター 救急科
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 基本的属性(①年齢、②性別、③担当科、④入院病棟)、⑤RRS 起動理由、⑥RRS 起動時のバイタルサイン、⑦転機、⑧対応した時間帯。また、RRS 該当患者のRRS 起動6～8時間前のバイタルサイン(呼吸回数、SpO2、心拍数、血圧、体温、意識レベル)についてデータ収集を行います。 ※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は研究事務局および当院の研究担当者両方において保管されます。 ※当院の研究者が収集した情報を取り扱います。			
⑧ 目的	当院では、RRS(院内迅速対応システム)導入前に全職種に対し院内勉強会を実施し、2022年8月よりRRS活動を開始しています。RRSの運用は救急科医師と連携し、救急・集中治療領域に従事する診療看護師2名、救急看護認定看護師1名、集中ケア認定看護師1名、急性・重症患者看護専門看護師1名がRRSを担当する看護師となり活動を開始しています。平日の日勤帯に担当者1名が専用PHSを持ち、要請時に患者の状態アセスメントや救急対応、ケア実践を行っています。また、RRSで活動した内容については、起動に至った経緯や要請基準および活動内容などを記載するテンプレートに、RRS担当者が記録することとしています。今回、RRS活動の実際から見えた課題について明らかにすることを目的に、RRS活動開始6ヶ月の中で対応した事例からRRT及びMETコールのあった患者について情報を収集します。			
⑨ 方法	研究デザインは、量的記述的研究デザイン(実態調査研究)とし、研究対象者のデータを収集し、傾向と課題について検討します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2023年6月12日		
	院長承認日	2023年6月12日		
⑪公表	個人情報保護のうえ、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	長岡孝典	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 救命救急センター			

呉医療センター院長